

後期現場実習にむけて・・・！

前号で前期現場実習が無事に終わったことを報告したところでしたが、高等部ではすでに後期の現場実習に向けて動き出しているところです。1, 2年生はこれから11月の実習に向けて夏休み期間中に実習先選びで候補先の事業所見学を行います。3年生は夏休み明けすぐに3週間の現場実習を行います。3年生の中には、卒業後B型事業所の利用を決めて、夏休み中に就労アセスメントを受ける生徒もいます。どの学年も実習を通して見つかった自分の良さや強みをさらに伸ばし、課題を克服するために今後の学校生活の様々な場面で将来のはたらく生活を意識して取り組んでいきます。



キャリアアップウィーク夏休み中も「お手伝い（家事）」を！

7月のキャリアアップウィークは「お手伝い（家事）・役割」に取り組みました。高等部では、「手伝い」から「家事」という言葉に置き換えて意識付けを図りました。生徒たちに家での手伝いを聞くと、「皿洗い」、「洗濯たたみ」、「犬の散歩」等すぐに答えてくれました。疲れて帰った実習中でも、手伝いを休まなかったと話してくれた生徒もいて、それが家事で自立する力の一つという話もできました。日頃から取り組んで、しっかり習慣化していると感じました。夏休み中は、家で過ごす時間も長くなるかと思えます。新たな手伝い（家事）や役割に挑戦し、長い期間続けてみてほしいと思います。また、手伝い紹介でご家庭での取組や様子をお聞かせいただけたらうれしいです。



PTA進路研修会のお知らせ

7月28日（金）の研修会では、くまもと障害者労働センターおれんじ村を利用されている宮本真太郎様、加代子様御夫妻をお招きし、現在のくらしや今に至るまでの仕事、恋愛、子育ての話などについて講演をいただきます。御夫妻と周りで支える支援者の方々の実体験と本音のお話がたくさん聞けると思えます。現在〇名の申込みをいただいておりますが、当日参加も受け付けますので、どうぞお越し下さい。

お詫び

前号と保護者案内プリントの中で、講師の宮本真太郎様、加代子様の漢字が一部間違っておりました。ここに訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

障害福祉サービスについて

高等部を卒業後、多くが障害福祉サービスを利用した日中活動の場へと移行していきます。本校を卒業する生徒たちの多くは生活介護やB型事業所を利用し、社会生活をスタートしていきます。ここでは、卒業とともに日中活動の場として利用する障害福祉サービスについて簡単にご説明します。別に発行します、「進路だよりJ r.」で生活介護とB型の違いについて触れていますので、そちらも併せてご覧下さい。

生活介護	日中に入浴、排泄、食事の介護等を行うとともに創作的活動や生産活動の機会の提供を行います。事業所ごとに提供されるサービスは様々です。生産活動に力を入れられているところでは、作業量に応じて工賃が支払われるところもあります。
就労継続支援B型	一般企業等で働くことが難しい方に、働く場を提供すると共に知識及び能力向上のために必要な訓練を行います。作業量に応じて工賃が支払われます。 令和2年 B型平均工賃月額約15000円
就労継続支援A型	一般企業等で働くことが難しい方に、雇用契約を結んで働く場を提供すると共に、知識および能力向上のために必要な訓練を行います。 熊本県最低賃金853円×働いた時間が支払われます。
就労移行支援	一般企業への就労を希望する方に、一定の期間（最長2年間）、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行います。事業所内外での作業訓練や座学、外部での実習などを経て一般就労やA型での就労を目指します。
自立訓練(機能・生活)	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間（原則2年間）における身体機能や生活能力の向上のための訓練を行います。
一般就労	一般企業の障害者雇用枠で就労します。 ハローワークで広く公開されている障害者求人よりも、現場実習の受入れから、雇用に繋がる人が多いです。就労後は、ジョブコーチ支援を受けながら職場への定着を図っていきます。

学校と福祉の違い

学校では、1クラスを2, 3人の担任で指導・支援しています。しかし、生活介護では、利用者3人に対して1人の支援員、B型は利用者7.5人を1人の支援員という割合で支援されています。福祉の現場では、「学校と同じような支援はできません」、「個別対応はむずかしいです」といった声をいただきます。学校としても、卒業までに事業所にも引き継げるような日頃の支援方法や一定時間その場で一人で過ごすことができる、落ち着いて待つことができるといった力や活動、環境を見つけていくことが必要と感じています。